mini speaker for iPod

Xa-2601

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

SP-XA2601BK

安全上のご注意

本製品は安全に配慮して製造されていますが、誤った使い方をすると、死亡、重傷、傷害などの人身事故、また物的損害を引き起こす原因となり大変危険です。ご使用の前には「安全上のご注意」を必ずお読みになり、記載事項を守って安全に正しくご使用ください。

■故障したら使用しないでください。

本製品が正しく動作せず、「こんなときには」の内容をお読みになり対処しても問題が解消されない場合は、ただちにお客様相談室にご連絡ください。

■万一、異常が発生したときは・・・

本製品が異常に発熱したり、異臭、異音、煙が発生したときは、ただちに使用を中止してください。その後はご使用にならず、お客様相談室にご連絡ください。

使用している表示と絵記号

警告表示、注意表示の意味は次の通りです。

表示	意味
⚠警告	この表示の項目を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠注意	この表示の項目を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表示しています。

絵記号の意味は次の通りです。

絵記号	意味
	この絵記号は禁止行為の説明を表示しています。
	この絵記号は必ず実行していただきたい行為の説明を表示しています。

⚠警告

本製品を絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。
火災、感電、やけど、故障の原因になります。また、故障時の保証対象外となります。

本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品の内部に異物を入れないでください。
水などの液体や金属片などの異物を入れると、火災、感電、故障の原因になります。液体や異物が内部に入ってしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
衝撃を加えてしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

本製品を濡らしたり、水蒸気や水がかかるような場所で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。浴室やシャワー室では使用しないでください。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

本製品の近くに水などの入った容器を置かないでください。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。こぼれたり、内部に液体が入ると、火災・感電の原因になります。

本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。
他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

電源コードを傷つけないでください。
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態(芯線の露出、断線、変形など)で使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、本体やアンテナ線、ケーブル類に触れないでください。
感電の原因になります。

表示された電源・電圧(交流100ボルト)以外で使用しないでください。
表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。

電源プラグの清掃を定期的に行ってください。
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・故障の原因になります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。

電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。
万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。

電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

乾電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
液が目に入ると失明の原因になることがあります。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
液がからだや衣服についたときも皮膚の炎症やけがの原因になることがあります。異常が現れたときはただちに医師の診察を受けてください。

⚠注意

本製品を不安定な場所に置かないでください。
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動する場所に置かないでください。落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。
窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のあたる場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。

音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。
スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

音量を上げすぎないようにしてください。
大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力に悪影響を与えることがあります。

機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

同梱品以外の電源コードは使用しないでください。
火災・感電の原因になることがあります。また、本製品の電源コードを他の機器に使用することもおやめください。

お手入れをするとき、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動させるときは、電源プラグやアンテナ線、接続したコードを外してください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。
スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。

FMアンテナは本製品や他のAV機器から離して設置してください。
雑音の原因になることがあります。

梱包袋は安全な場所に保管してください。
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になります。

乾電池の+(プラス)と−(マイナス)の向きを正しくセットしてください。
正しくセットしないと、発熱、火災、感電の原因になることがあります。

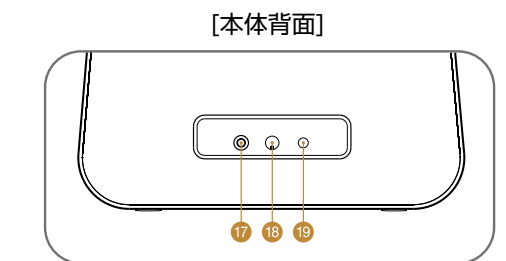
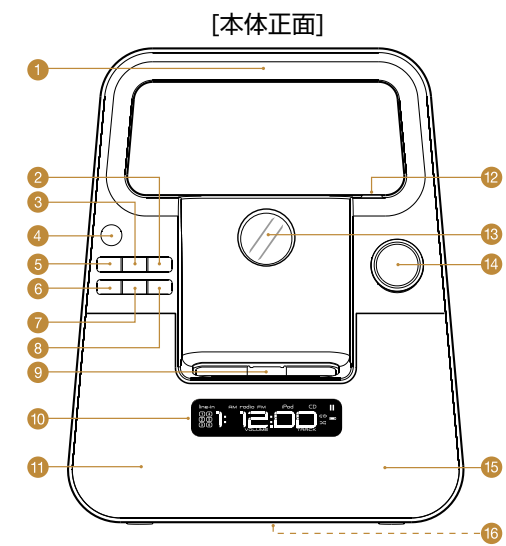
乾電池を乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

古い乾電池と新しい乾電池、また種類の異なる乾電池を混在させて使用しないでください。
破裂や液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

乾電池を加熱・分解したり、火や水の中に投下しないでください。
破裂や液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

乾電池の+(プラス)と−(マイナス)をショートさせないでください。
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、発熱、破裂、液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

各部の名称

1. ハンドル
2. 進むボタン(▶▶|) (選局/スキップ/サーチ)
3. 再生/一時停止ボタン(▶II)
4. SOURCEボタン
5. 戻るボタン(|◀◀) (選局/スキップ/サーチ)
6. プリセット1/リピートボタン
7. プリセット2ボタン
8. プリセット3/シャッフルボタン
9. iPod/iPhone挿入部とDockコネクタ
10. ディスプレイ
11. 左スピーカー
12. 電源ボタン(⏻)
13. iPod/iPhoneポジション調整ノブ
14. ボリュームコントロールダイヤル
15. 右スピーカー
16. 電池格納部(本体底面)
17. LINE INジャック
18. DC INジャック
19. FMアンテナポート

ACアダプターを接続する

1. **ACアダプターのDCプラグを本体背面のDC INジャックに挿入します。**
2. **ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続します。**

本機に付属のACアダプター以外は使用しないでください。

本機に乾電池を取り付ける

単4形乾電池4本を本機の電源として使用することができます。
乾電池を取り付けるときは、以下の手順に従ってください。

1. **本体底面の電池カバーをスライドさせて開きます。**
2. **単4形乾電池4本を図1のように電池格納部に取り付けます。**

   電池格納部に示されている+と−のマークに乾電池の向きを合わせてください。
   持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

3. **電池カバーを元に戻します。**

図1

補足：本機を乾電池で使用するときは、必ずACアダプターをDC INジャックから外してください。
・乾電池の残量が少なくなると、ディスプレイの電池マークが点滅します。
・本製品には乾電池は同梱されていません。ご使用になる前に単4形乾電池を4本ご用意ください。
・ACアダプターを使用しているときは乾電池は使用されません。

iPhone用 Dockアダプタ

下の表でご使用になるiPhoneを確認し、対応するDockアダプタを使用してください。
Dockアダプタの番号は、図2に示すように、Dockアダプタの前面に刻印されています。
対応するDockアダプタとご使用になるiPhoneを本機に挿入してください。

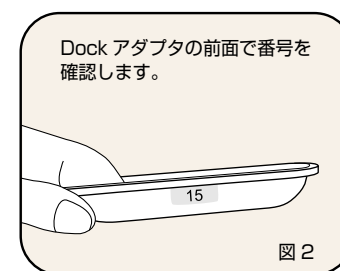



図2

iPhoneのタイプ	Dockアダプタの番号
iPhone 3GS (16GB, 32GB) iPhone 3G (8GB, 16GB)	No. 15
iPhone (4GB, 8GB, 16GB)	No. 12

iPod/iPhoneを接続する

1. **Dockアダプタを iPod/iPhone挿入部に挿入します。**

   ツメがある面を本機の正面側に向けて、ツメ側からiPod挿入部に挿入します。Dockアダプタの背面を押しながら、DockアダプタをiPod/iPhone挿入部に固定します。

2. **iPod/iPhoneポジション調整ノブを使用してiPod/iPhoneの位置を調整します。**

   反時計回りに回すと上がり、時計回りに回すと下がります。

3. **iPod/iPhoneをDockコネクタに挿入します。**

   iPod/iPhoneのコネクターが本機のコネクターにかみ合うまでそっと押し込みます。

本機がACアダプターで電源に接続されているとき、iPod/iPhoneは充電されます。本機でのiPod/iPhoneの使用については、「本機でiPod/iPhoneを使用する」を参照してください。

補足： iPod/iPhoneを本機に接続すると、iPodは一時停止モードになります。
- iPod/iPhoneを取り外しても、iPodモードは解除されません。
- Dockアダプタを取り外すときは、Dockアダプタの溝を持ち上げて取り外してください。
- 充電：本機のACアダプターがコンセントに接続されているとき、iPod/iPhoneをDockコネクタに挿入すると、本機の電源のOn/Offにかかわらず、iPod/iPhoneの充電が開始されます。
- iPhoneを使用中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止し、通話が終了すると再生が再開します。
- 本機がiPodモードになっていてiPod/iPhoneが接続されていないとき、未接続の状態が5分以上続くと本機の電源は自動的に切れます。

本機でiPod/iPhoneを使用する

- iPod/iPhoneを接続した状態で、電源ボタン(⏻)を押して電源を入れます。SOURCEボタンを数回押して、iPodモードを選択します。iPodモードが選択されると、ディスプレイに「iPod」と表示されます。
- iPod/iPhoneは、プレーヤーの操作部、本機の操作部のどちらを使用しても操作することができます。iPod/iPhoneの操作部を使用するときはiPod/iPhoneに付属の取扱説明書に従ってください。
- **iPod/iPhoneの再生／一時停止：** iPodの再生を開始するときは、再生／一時停止ボタン(▶II)を押します。もう一度押すと再生が一時停止します。さらにもう一度押すと再生が再開します。
- **音量を調節するとき：** ボリュームコントロールダイヤルを時計回りに回すと音量は上がり、反時計回りに回すと下がります。

前後の曲を聞く(スキップ)

- 戻るボタン(I◀◀)または進むボタン(▶▶I)を押すと、現在のトラック、前のトラックまたは次のトラックの始めへスキップします。

早送り／早戻しする(サーチ)

- 戻るボタン(I◀◀)または進むボタン(▶▶I)を長押しすると、現在再生中のトラックを早戻しまたは早送りします。

補足： 本機の電源を切るときは電源ボタン(⏻)を押します。
- 音量を調節したあと、本機の電源を切り、再び電源を入れると、音量は本機の電源を切る前に選択したレベルに設定されます。

リピート再生する

- iPod/iPhoneを挿入した状態でプリセット1/リピートボタン(⟲)を押し、iPodのリピートモードを切り替えます。リピート1モード(⟲1)は現在の曲を繰り返し再生します。オールリピートモード(⟲)はカテゴリ内の全ての曲を繰り返し再生します。リピートオフモードはリピート再生を行いません。
- リピート再生をキャンセルするには、iPod/iPhoneのディスプレイからリピート表示が消えるまで、プリセット1/リピートボタン(⟲)を押します。

ランダム再生する

- iPodに保存されている曲またはアルバムをランダム再生するには、iPod/iPhoneを挿入し、シャッフル表示がiPod/iPhoneのディスプレイに表示されるまでプリセット3/シャッフルボタン(⤮)を押します。再生／一時停止ボタン(▶II)を押すとランダム再生がスタートします。
- ランダム再生をキャンセルするには、iPod/iPhoneのディスプレイからシャッフル表示が消えるまで、プリセット3/シャッフルボタン(⤮)を押します。

FMラジオを聞く

- 本機の電源を入れてSOURCEボタンを数回押し、Radioモードを選択します。ディスプレイに「Radio FM」と表示されます。
- 周波数を手動で変更する場合は、目的の周波数がディスプレイに表示されるまで、戻るボタン(I◀◀)または進むボタン(▶▶I)を数回押します。
- 自動で選局する場合は、戻るボタン(I◀◀)または進むボタン(▶▶I)を長押しし、ディスプレイの周波数が動き始めたら離します。チューナーが受信感度の良い局で停止します。目的の周波数がディスプレイに表示されるまで、この手順を繰り返します。
- **音量を調節するとき：** ボリュームコントロールダイヤルを時計回りに回すと音量は上がり、反時計回りに回すと下がります。

補足： 本機の電源を切るときは電源ボタン(⏻)を押します。
- 音量を調節したあと、本機の電源を切り、再び電源を入れると、音量は本機の電源を切る前に選択したレベルに設定されます。

アンテナ： 良好な受信状態を得るには、同梱のFMアンテナ線を、本体背面のFMアンテナポートに挿入してください。アンテナを伸ばすと、受信感度が良くなります。

FMラジオのプリセット設定

- 「FMラジオを聞く」の手順を参考にしてFMラジオ局の周波数を選択します。設定するプリセットボタン(1～3のいずれか)を長押しします。ディスプレイが2回点滅し設定が完了します。

プリセット設定を呼び出す

- 「FMラジオを聞く」の手順を参考にしてRadioモードを選択します。任意のプリセットボタン(1～3のいずれか)を押して、プリセット設定しているFMラジオ局の放送を聞きます。

補足： 長時間にわたって本機に電力が供給されない場合(ACアダプターが接続されていない、電池切れ、停電など)にはプリセットメモリーはリセットされます。

オプション接続：LINE INジャック(背面)

市販の接続ケーブルの一方の端を外部オーディオ機器のLINE OUTジャックに挿入し、もう一方の端を本体背面のLINE INジャックに挿入します。

補足： 本機は3.5mmステレオミニジャックを使用しています。

- **外部オーディオ機器を聞くとき：** 電源ボタン(⏻)を押して本機の電源を入れ、外部オーディオ機器の電源を入れます。ディスプレイに「line-in」と表示されるまで、SOURCEボタンを数回押して、LINE INモードを選択します。外部オーディオ機器を再生させると、出力が本機のスピーカーから聞こえます。iPod/iPhone の曲を聞きたい場合は、ディスプレイに「iPod」と表示されるまでSOURCEボタンを数回押して、iPodモードを選択します。

こんなときには

状態	ご確認ください	対処方法
音が聞こえない	音量が最小になっていませんか。	音量を上げてください。
Radioモード：音が聞こえない	電源は入っていますか。またRadioモードが選択されていますか。	電源ボタン(⏻)を押してから、SOURCEボタンを数回押して Radioモードを選択してください。
	音量が最小になっていませんか。	音量を上げてください。
Radioモード：音質が悪い	ラジオ局の選局は正しいですか。	ラジオ局の選局をやり直してください。
	アンテナを伸ばしていますか。	アンテナを伸ばしてください。
iPodモード：音が聞こえない	接続は正しいですか。	接続を確認してください。
	電源は入っていますか。またiPodモードが選択されていますか。	電源ボタン(⏻)を押してから、SOURCEボタンを数回押してiPodモードを選択してください。

主な仕様

スピーカー 2スピーカーシステム
出力 .... 3W＋3W
本体寸法 .... 約188(幅)×79(奥行き)×229(高さ)mm
本体重量 約680g
電源 .... ACアダプター(9V 1.5A)
乾電池 単4形乾電池4本
FMラジオの受信周波数 .... 76～108MHz

製品の仕様および外観は予告無く変更する場合がありますのでご了承願います。

品名	iPod対応スピーカー
原産国	中国
事業者名	イメーション株式会社

TDK Life on Recordロゴは、TDK株式会社の商標です。

互換性

本製品は以下のiPod/iPhoneに対応しています。

Made for iPod iPhone

iPod touch（第2世代）/ iPod touch（第1世代）
iPod classic / iPod with video / iPod nano（第5世代）
iPod nano（第4世代）/ iPod nano（第3世代）/ iPod nano（第2世代）
iPod nano（第1世代）/ iPhone 3GS / iPhone 3G / iPhone

iPod/iPhoneは本製品に同梱されていません。

TDK Life on Record

保証書

品番	SP-XA2601BK
お買い上げ年月日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ年月日より1年間
お客様	ご氏名 ご住所　〒 電話番号　(　　　)　　　－
販売店	販売店名・住所

お客様相談室におけるお客様の個人情報の取扱いにつきまして

ご相談の際にお受けした個人情報は、お問い合わせへの対応およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ユーザー登録のお願い

本製品をご購入されたお客様にはユーザー登録をお願いしております。
TDK Life on Recordのホームページより、オンラインでのご登録を行ってください。
http://www.tdk-media.jp/support/

お問い合わせは **お客様相談室** まで
0120-81-0544
www.tdk-media.jp

保証規定

1. お買い上げの日から1年以内に製造に起因する故障が発生した場合、交換をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は原則として費用をご負担いただきます。
   - 操作上の誤り、および弊社によらない修理や改造による故障および損傷
   - 火災、風水害、地震などの天災による故障および損傷
   - お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
   - 本製品以外の機器が原因となって生じた故障および損傷
   - 一般家庭用以外(業務用途など)での使用で生じた故障および損傷
   - 保証書が提示されない場合
   - 保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入、または領収書や納品書など保証開始時期を証明するものがない場合
   - 車両・船舶等に搭載された際に生じた故障および損傷
3. 保証の対象外
   消耗・磨耗品は補償いたしかねますのでご了承ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 本保証書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
6. 本保証規定は日本国内でのみ有効です。
   ※This warranty is valid only in Japan.